

連携だより

令和6年 12月号

令和6年12月1日発行

独立行政法人 国立病院機構
呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
0823-22-3111(代)

紹介予約専用
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

理念 
思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します



12月の花 ポインセチア



今月号のトピックス

- 令和6年10月1日 地域医療研修センター講演会
産科婦人科科长 熊谷 正俊
広島大学大学院医系科学研究科産科婦人科学教授 工藤 美樹先生 …… 1
- 令和6年11月20日 地域医療研修センター特別講演会
広島大学病院 副病院長
総合内科・総合診療科 教授 伊藤 公訓先生 …… 3
- 連携病院紹介 …… 4
- 第27回 市民公開講座 がん講演会 庶務班長 大川 鉄雄 …… 6
- 新任医師紹介 …… 7
- 令和6年度第1回呉圏域アルコール協議会
ソーシャルワーカー 菰口 陽明 …… 9
- 連携施設証の発行について …… 10

令和6年10月1日 地域医療研修センター講演会



広島大学大学院
医系科学研究科
産科婦人科学教授
工藤 美樹先生

定期講演は、講師に当院 産科婦人科科长 熊谷正俊先生に「婦人科がん治療の低侵襲化について」、婦人科領域の腹腔鏡下手術とロボット支援下手術の適応の実際についてご講演いただきました。特別講演は、講師に広島大学大学院医系科学研究科産科婦人科学教授 工藤美樹先生に「産科/周産期医療の現状と課題」について詳しくご講演いただきました。（以下抄録より）

周産期医療とは、妊娠中、分娩、そして出生後の初期段階における母子の健康を守るための重要な医療分野である。

日本では周産期医療の質の向上が進んでおり、周産期死亡率と妊産婦死亡率はともに世界のトップクラスであり、母体と児にとって最も安全な国である。一方で、

地域による医師の偏在や少子化などの影響から、周産期医療システムそのものも大きく転換する必要が求められている。日本の周産期医療がさらに進展するためには、地域間の医療格差の是正、医療スタッフの教育の強化、さらなる研究と技術革新が必要である。また、母子の健康を支えるための社会全体でのサポート体制の構築も重要である。これらにより、より多くの母子が安全で健康な周産期を迎えられることを目指す必要がある。

本講演では、わが国の周産期医療の現状と課題について解説する。



演者
広島大学大学院医系科学研究科
産科婦人科学教授 工藤 美樹先生



演者
産科婦人科科長
熊谷 正俊



質疑
院長
繁田 正信



座長
副院長
田代 裕尊



質疑
産科婦人科
八田 夏渚子



講演会風景



後列左：産科婦人科 佐川 麻衣子、綱掛 恵、西本 祐美、八田 夏渚子、菅 裕美子
前列左：産科婦人科医長 中村 紘子、産科婦人科科長 熊谷 正俊、
広島大学大学院医系科学研究科産科婦人科学教授 工藤 美樹先生、院長 繁田 正信、
副院長 田代 裕尊

令和6年11月20日 地域医療研修センター特別講演会



広島大学病院
副病院長
総合内科・総合診療科
教授
伊藤 公訓先生

講師に広島大学病院 副病院長 総合内科・総合診療科 教授 伊藤公訓先生をお招きして「日本の医療を変える「ホスピタリストモデル」とは？」について分かりやすくご講演いただきました。（以下抄録より）

我が国の医療を取り巻く社会変化は凄まじく、超高齢化における医療の複雑化は早急に対応すべき大きな課題です。回復期のみならず急性期医療においても、臓器専門医の集合体ではもはや解決し得ない事態になりつつあります。

この課題解決のため、総合診療医に大きな期待が寄せられています。

総合診療医による先進的な取り組みとして「ホスピタリストモデル」があります。本講演では、日本で始まりつつあるこの新しいモデルについて紹介したいと思います。



座長
内視鏡内科科長
吉田 成人



質疑
院長
繁田 正信



質疑
統括診療部長
立川 隆治

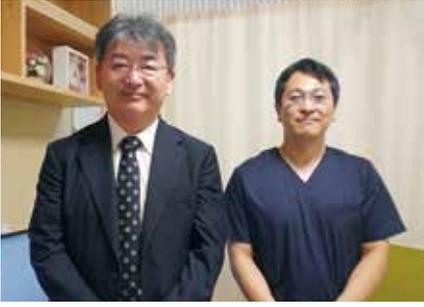


講演会風景



後列左：消化器内科医長 山口 厚、消化器内科科長 河野 博孝、内視鏡内科 田丸 弓弦、
内視鏡内科 水本 健、外科 田妻 昌
前列左：副院長 田代 裕尊、内視鏡内科科長 吉田 成人、
広島大学病院 副病院長 総合内科・総合診療科 教授 伊藤 公訓先生、院長 繁田 正信、
副院長 大庭 信二、統括診療部長 立川 隆治

連携病院紹介



• ますもと乳腺クリニック •



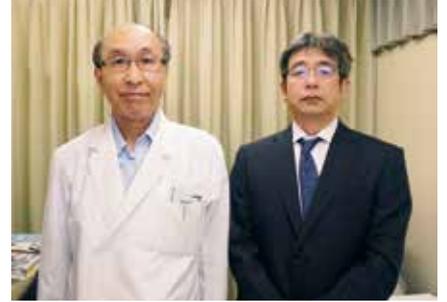
• 医療法人 心友会
下原循環器内科クリニック •



• 岡田医院 •



• 医療法人社団 生和会 広島中央リハビリテーション病院 •



• こたち胃腸科・内科医院 •



• 医療法人 福原内科クリニック •



• 医療法人山法師会
焼山中央内科クリニック •



• 医療法人社団 はまい会 大君浜井病院
医療法人社団 芸南クリニック •



• 医療法人社団スマイル
クレア焼山クリニック •



• 医療法人社団スマイル
博愛クリニック •



• 医療法人清和会 荒谷医院 •



• 医療法人 壽邦会 深江長坂医院 •



• 大原内科循環器科 •



• 医療法人社団 田中医院 •



● 日下医院 ●



● 澤医院 ●



● 医療法人 エム・エム会
マッターホルンリハビリテーション病院 ●



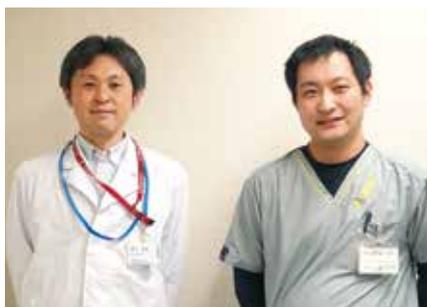
● 医療法人社団中川会 吳中通病院 ●



● 医療法人社団生和会 たかの橋中央病院 ●



● サンキ・ウエルビィ
訪問看護ステーション呉 ●



● 訪問看護事業所 めぐみ園 ●



【紹介予約専用電話】のお知らせ

紹介の外来予約のお問い合わせは、TEL：0823-22-3816、FAX：0823-32-3070
をお願いいたします。その他のお問い合わせは、病院代表電話0823-22-3111へお願いいたしま
す。

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきます
ので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

救急外来
受付直通

TEL 0823-23-1020
FAX 0823-21-7474

第27回 市民公開講座 がん講演会

庶務班長 大川 鉄雄

令和6年11月10日(日)に呉信用金庫ホール(呉市文化ホール)で、当院主催、呉市の共催で「第27回市民公開講座 がん講演会」を開催しました。今年度は“がん治療の最先端医療～からだにやさしい手術を目指して～”をテーマとし、当院医師による手術支援ロボット“ダヴィンチ”を用いた最先端のがん治療に関する講演とタレントの山田邦子さんによる特別講演の2部で構成し、約1200名の市民の方に来場いただきました。

開会に当たって繁田院長から当院におけるがん診療の取り組みについて挨拶され、続いて、新原呉市長より当院での最先端のがん診療による呉医療圏への貢献につき祝辞を賜りました。

第1部では当院の3名の講師による講演がありました。まず、鈴木外科医長から“ダヴィンチを用いた低侵襲胃がん手術について”と題して、胃がん領域における術式の変遷とロボット支援手術の経験について分かり易くお話しされました。次いで嶋田外科医長より“大腸がんの外科治療～ロボット支援下手術の導入～”と題して、進行がんでも手術で根治できる可能性が高く、大腸がん手術は根治を目指した術式に加えて低侵襲・機能温存も考慮可能であると自験例から判り易く解説されました。最後に泌尿器科の繁田院長から“機能温存のための泌尿器ロボット手術”と題して、腹腔鏡で培った高い技術は、ロボット手術にそのまま移行し、当院ではロボット導入後も何ら障害もなく、高いレベルでの手術が継続できていることを、実際の手術動画を用いて分かりやすく解説されました。

第2部では、タレントの山田邦子さんが「笑顔で行こう！」と題して講演されました。講演では、市民の皆さん全員が参加して、童謡を歌う場面もあって、会場はきれいなハーモニーに包まれました。2007年にテレビ番組をきっかけに乳がんが発覚した山田邦子さんですが、当時MRI検査を受けた時の心境などをユーモアたっぷりにお話いただき、また、往年のギャグや芸能界の話、ご自身の歌まで披露され、大いに盛り上がりました。まさしく、笑顔で生きることの大切さを示した講演だと感じました。

最後に、讃岐中央手術部長から、講師の山田邦子さんへの御礼とご参加いただいた方々への感謝の言葉で盛会裏に本年度のがん講演会は終了しました。来年度もユーモアあふれる楽しい講演会を企画したいと思えます。





呉市長
新原 芳明様



院長
繁田 正信



外科医長
鈴木 崇久



外科医長
嶋田 徳光



講演者
山田 邦子様

新任医師紹介

リハビリテーション科

井口 紘輔



専 門	リハビリテーション全般
資格等	リハビリテーション科専門医、義肢装具適合判定医
趣 味	水族館巡り
ご挨拶	呉地域の医療に少しでも貢献できるように頑張ります。よろしくお願ひ申し上げます。

精神科

鈴木 里美



専 門	精神科一般
資格等	
趣 味	旅行
ご挨拶	呉地域の医療に貢献できるよう努力します。どうぞよろしくお願ひいたします。

腎臓内科

新開 泰



専門 腎臓内科

資格等 日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会専門医

趣味 スキー、ヴァイオリン

ご挨拶 呉の地域医療に貢献できるよう精進致します。今後ともよろしくお願いたします。

病理診断科

城戸 綾



専門 病理診断一般

資格等 日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会専門医

趣味 歌うこと

ご挨拶 まだまだ未熟者ですが精一杯頑張りますので、よろしくお願致します。

産科婦人科

西本 祐美



専門 産婦人科一般

資格等 _____

趣味 水族館巡り

ご挨拶 呉での勤務は初めてです。精一杯がんばりますので、よろしくお願いたします。

病理診断科

白井 郁嘉



専門 病理診断一般

資格等 _____

趣味 スポーツ観戦

ご挨拶 病理診断を通して呉地域の医療に貢献できるよう、精進致します。どうぞよろしくお願致します。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

湯浅 耕太郎



専門 耳鼻咽喉科一般

資格等 _____

趣味 ドライブ、スポーツ

ご挨拶 呉の医療に貢献出来るよう精進致します。

よろしくお願いたします。



令和6年度第1回呉圏域アルコール協議会

呉圏域アルコール健康障害対策協議会・令和6年度第1回研修会へ参加しました！

ソーシャルワーカー 菰口 陽明

呉圏域では精神障害者地域生活支援推進事業の一環として、アルコール健康障害対策協議会（以下、協議会）による支援者向け研修会を年3回実施しており、当院のソーシャルワーカーが企画運営に参画しています。今年度1回目の研修会が9月27日（金）にすこやかセンターくれで開催され、行政、医療、福祉領域から約40名の皆様に参加頂きました。

研修会では「飲酒問題に対して、呉&江田島でできることを一緒に考えよう！！」をテーマに、前半は「広島県依存症対策推進計画」について広島県疾病対策課より説明後、呉警察署生活安全課より警察の立場から「地域でみえるアルコール問題の現状と課題」について話題提供頂きました。後半は所属、立場を越えてグループワークを実施し、参加者からは「ネットワークを作りつつ、対象者一人一人と丁寧にかかわりたい」、「支援者支援の意味でも悩みを話合う場が大切」、「様々な職種の考えを理解して啓発活動をしたい」といった今後の取り組みに繋がる感想が多数聞かれました。

尚、協議会の実践については9月19日から21日にかけて東京で開催された2024年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会にてポスター発表を行い、様々な地域の皆様から反響を頂きました。次回の研修会は12月20（金）に「問題解決しない事例検討会（支援者のアセスメントに重点をおいた事例検討会）」が呉市役所で開催されます。連携機関の皆様方にはお気軽にご参加いただけましたら幸いです。



学会発表ポスターの一部



9/27研修会
グループ発表



9/27研修会
アドバイザーのコメント



9/21
学会でのポスター発表

連携施設証の発行について

国立病院機構呉医療センター「連携施設証」の発行について

当院では更なる地域医療連携推進のため、地域の医療機関の先生方と病病連携並びに病診連携の強化を図り、紹介・逆紹介（退院支援）を推進して参りたいと考えており、この度「連携施設証」を発行することとしました。

「連携施設証」の発行を希望する場合は、別添様式1に必要事項を記載いただき地域医療連携室宛に郵送またはFAXにてお申込みくださるようお願いいたします。

「連携施設証」みほん

国立病院機構呉医療センター
連携施設証

●●医院 殿

当院は貴院と連携し地域医療の
推進に努めます。

令和●年●月●日

独立行政法人国立病院機構
呉医療センター 院長 繁田 正信

印



TCSA勉強会

TCSA= Total Care Support Association

TCSAとは、感染コントロールチーム (ICT)、栄養サポートチーム (NST)、褥瘡防止チーム (PMT)、臨床カルパスチーム (CPT)のコラボレーションで、チーム医療の進化形です。

令和6年度 第7回

日時：12月16日(月) 18時～19時30分

場所：4階地域医療研修センター1・2

進行：TCSA委員長 大庭 信二

「臨床カルパスって何？」

「パスの基本を理解して活用しよう」

臨床カルパス委員会

「DPSとパスの関連について」

診療情報管理士 石井 里絵

「臨床カルパス運営への薬剤師の関わり」

薬剤士 安部 裕美

「骨粗鬆症リエンゾサービスを開始して

「FLSの1年の歩み」

整形外科医師 岡田 芳樹

皆さん、気軽にご参加ください。
一緒に勉強しましょう。
自己研鑽のための研修会です。

問い合わせ先：呉医療センター

TCSA委員会 栄養管理室 室長 兼 任美



12月の時間外 研修会/勉強会



[連絡先]

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係 (教育企画部)
 広島県呉市青山町3番1号/TEL:0823-22-3111/ホ-41-97 : https://kure.hosp.go.jp



研修会名	日 時	場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
消化器合同オープンカンファレンス 肝・胆・膵及び上部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討	12月4日 (水) 18:00~	地域研修センター 1・2	呉医療センター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器外科	○	全職種
コメディカル勉強会 「褥瘡に使用する薬剤について」	12月9日 (月) 18:00~ (30分程度)	11F カンファレンス室	呉医療センター 薬剤師 伊勢田 諭 森島 智華	薬剤部	院内 向け	看護師 助産師 コメディカル
RCTオープンセミナー 「呼吸器リハビリテーション」 ～リハビリの基本と離床について～	12月11日 (水) 18:00~19:00	地域研修センター 1・2	呉医療センター リハビリテーション科 森本 匠	呼吸ケアチーム	院内 向け	全職種
第7回 TCSA勉強会 「クリニカルパスって何？-パスの基本を理解して活用しよう-」 「DPCとパスの関連について」 「クリニカルパス運営への薬剤師の関わり」 「骨粗鬆症リエンゾサービスを開始して-FLSの1年の歩み-」	12月16日 (月) 18:00~19:30	地域研修センター 1・2	呉医療センター クリニカルパス委員会 診療情報管理士 石井 里絵 薬剤士 安部 裕美 整形外科医師 岡田 芳樹	栄養管理室	○	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう!!

T737-0023 広島県呉市青山町3-1
 独立行政法人 国立病院機構
 呉医療センター・中国がんセンター

地域医療連携室

河野 博孝 寺尾 秀二
 竹中 恵子 折本 陽一
 片山 千雪

(紹介予約専用電話)

TEL: (0823) 22-3816 FAX: (0823) 32-3070